

カナダ セントメアリーズ大学

[2019年3月～2019年4月分]

経営学部3年 中島梨穂

どうもこんにちは初めまして。カナダのハリファックスにあるセントメアリーズ大学に2019年3月から8月までの半年間留学中の中島梨穂です。5月に入ってようやく暖かくなりだしダウンなしでも過ごせるようになりました。ハリファックスは海に囲まれているため気候の変動が激しいです。急に雨が降ってきたとしても、5分後には晴天になる場合もあれば豪雨に変わる場合もあります。そしてハリファックスに住む人は基本傘を持ちません。なぜなら傘をさしたとしても風ですぐ壊れてしまうからです。雨を凌ぐには、防水のジャケットを着るかフードを被るか意地でも傘をさすかの3択になります。いち早くハリファックスに馴染みたいのであれば傘をささないことをお勧めします。ちなみに私は意地でも傘をさす人です。



《ハリファックスについて》

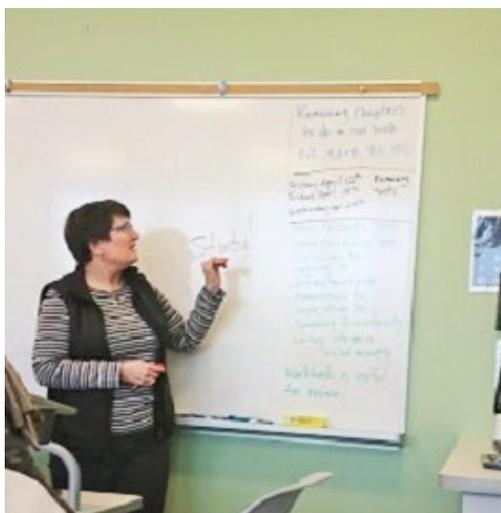
ここハリファックスの治安は悪くはありませんがよくもないです。といいますと、所々にごみが捨てられています。ダウンタウンにはホームレスがお金を求めコップのようなものを持ち路上に座っていたり立っていたりもしています。また、ちょっと変な若者が車から叫んでいたりもしています(これに関しては稀ですが)。ですが基本人柄は優しくフレンドリーな人が多いです。目が合うと微笑んでくれ、バスを降りるときに一言「Thank you」と言っているのもそこからきていると思います。

交通手段はバスか車、徒歩になります。バスの定期券(学生は1カ月70ドル)を購入すればどの路線のバスでも乗り放題なのでとても便利です。雪の日は大きくタイヤが乱れるので学校に遅刻しないよう早めに家を出ることを推奨します。私はそれで1時間ほど寒い中バス停で待っていたことがありました。



《学校生活》

9時から15時半までのクラスで、10時20分と14時20分に休憩が入ります。TLCという語学学生専用の棟があり、一日中そこで勉強しています。6人から12人ほどの少人数クラスなのでクラスメイトと仲良くなりやすく、また気兼ねなく発言しやすい環境です。早く英語を上達させるには「スピーキング」をたくさんすることが一番の近道です。実際に授業でもスピーキングに特化した内容を先生方が用意してくれています。心の中で英語を言っていたとしても実際に声に出してみるとうまく言えない場合がほとんどです。授業中のみならず自主勉強の際も音に出して勉強に取り組んでいます。



《生活の変化》

日本にいたころは、昼は学校、放課後は夜までバイトという典型的な大学生の生活を繰り返していました。しかしこの生活はバイトというものがなくなったため自分の時間がものすごく増えます。その時間を体のケアや趣味・観光などに当てていることで自分自身を振りかえることのできる良いきっかけになっています。

私はホームステイなのですが、朝昼晩すべてマザーが作ってくれます。これもまた私にとって生活の変化です。まず、大学入ってからきちんと3食食べていなかった私にとって時間通りに1日3食食べるというはある意味凄いことでした。それに、ホームステイだからこそその国の料理を食べることもできます。マザーはとても料理が好きで、毎日違う料理を振舞ってくれます。作ってくれることがいかに幸せなことか身に染みて感じます。

また、私のホームステイ先にはメキシコ人、中国人、ブラジル人、韓国人など世界中から来た学生が滞在しています。学校のみならず家にいながらも国際交流できるのはホームステイのいいところだと思います。

